

BMWシフトレバー折損事例



2本サス 固定リンク式 調整不可



ラバーブーツ装着状態 構造上、曲げモーメントは掛からない



モノサス ピロボール式（かしめ固定）調整可能



作動時に曲げモーメントが掛かり金属疲労が発生する



かしめタイプ修理例 TIG溶接



ナット固定式 肉厚なので折損しない

旧型 固定リンク式 厚み 4.0ミリ

新型 リベット固定式 厚み 2.6ミリ 肉厚不足のため折損の事例あり

対策 ナット固定式 厚み 4.0ミリ 旧型部品に戻る

ピロットボールの規格に合わせるため肉厚が極端に薄い、ピロボール式の場合は曲げモーメントが掛かるため金属疲労から折損に至る 走行5万キロぐらいまでは耐えるようだ

CRIMECA